**加藤記念研究助成 申請書**

提出日：　　　年　　月　　日

貴財団の研究助成金の給付を希望しますので、推薦書を添えて申請します。

|  |  |
| --- | --- |
| 研 究 題 目  （40字以内） |  |
|

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者氏名 |  |

|  |
| --- |
| 主たる履歴　(学部卒業以降。西暦で記載。留学歴は期間がわかるように記載) |
| 年 月 大学 学部 卒業 |
| 年 月 |
| 年 月 |
| 年 月 |
| 年 月 |
| 年 月 |
| 年 月 |
| 年 月 |

必要に応じて行を増やす。博士号(PhD)取得者は、取得年月を明記すること。

以下の各項目は該当者のみ記載

|  |  |
| --- | --- |
| 科研費研究者番号 |  |
| 下記の事由により、応募時の年齢制限の延長を希望される場合は、右欄に該当する休業の名称と期間を記載  ①産前産後・育児休業  ②介護休業、その他疾病等(不妊治療含む)による休業 |  |
| 倫理審査委員会等にかかわる状況 |  |
| 研究課題が臨床研究法第2条第1項で規定されている臨床研究に該当する場合は、右欄に○を入力 |  |
| PI職にある方は、PI職になった年号と職種を記載 |  |
| 現在任期制雇用中の方は、現職就任年月を記載 |  |

注1）年齢制限を延長できる期間は以下のとおりです（※①・②両方の事由による申請も可）。

事由①：休業期間が2年以下の場合は一律2年、2年を超える場合は、取得した期間の延長

を認める。尚、複数回取得した場合はそれらを合算した期間とする。

事由②：その休業期間の延長を認める。

注2）PI（Principal Investigator, 研究室主宰者）とは、ここでは独立した研究室を持つ、研究グループの予算作成・執行の責任者、担当課題の予算作成・執行の責任者、特定の部下（大学院生等含む）の指導の責任者、発表論文の責任者、の全てを実質的に満たす研究者とします。

**1．研究計画**

1）～5）を以下のスペースに図表込みで３ページ以内に記載。

1)　研究題目

2)　研究の目的

3)　研究の新規性・独創性と波及効果

4)　研究方法

5)　研究助成金の使途及び金額

【記載例】　費目は下記例に限らない。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 費目　(例) | 内訳 | 予算(円) | 説明 |
| 1. 機器購入費 |  |  |  |
| 2．消耗品費 |  |  |  |
| 3．旅費交通費 |  |  |  |
| 4．外注委託費 |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 合計 |  | 2,000,000 |  |

**2．研究業績の概要**（現在までの研究を要約し、実施機関・期間を付記する。以下のスペースに１ページ以内で記載。）

**3．主要論文、著書、受賞歴など**

最近５年間の主要文献等を共著者名、タイトルと共に記入し2ページ以内に記載する。直近1年以内の助成歴(名称、助成期間、金額)は詳しく記載する。別刷りの添付は不可。